

2021年8月25日（水）

祈禱会の皆様、

おはようございます！（夜の祈禱会の皆様、こんばんは！）祈禱会の時間です！

【テーマ】「断食ではなく、正義と憐れみ」

【聖書のみ言葉】ゼカリヤ7:1-14を読みましょう。

【解説】

「ダレイオス王の第四年、第九の月、すなわち、キスレウの月の四日」(1)とは、紀元前518年12月7日、つまり、「8つの幻」が与えられた後、2年にもならない頃のことです。ベテルの人々はメッセンジャーを遣わして、神殿の祭司たちや、ゼカリヤを含む預言者たちに、捕囚の約70年間(5)続けてきたように、断食を行わなければならないか尋ねました(1-2)。

そこで、主の言葉がゼカリヤに与えられました(5-10)。それは、祭司たちや人々の、自己中心的で、不純な動機による断食に対する叱責でした(4-7)。また、バビロン捕囚前、預言者たちを通して彼らの父祖たちに伝えられていたように、主が望むことは形だけの断食ではなく、互いや、特に弱い立場や状況にいる人々に対する、社会的・道徳的・倫理的な正義であり、憐れみであるというものでした(9-10)。ところが、父祖たちは、主のみ言葉を拒否した。そこで、主は彼らを裁かれ、彼らが主を呼び求めても聞かず、彼らを散らされたと語られました。そして、主は、預言者ゼカリヤを通して、当時の民も、形だけの断食ではなく、互いや、特に弱い立場や状況にいる人々に対する正義と憐れみを行動に表して生活するように願われたのです。

【適用】

私たちも、互いや、特に、様々な理由で弱い立場や状況にいる人に対して、正義と憐れみを行動に表して生活したいですね。なぜなら、イエス様は、私たちのためにもご自分の命を捨てて下さり、愛を表してくださったからです(1ヨハネ3:16-18)。イエスの愛をもって正義と憐れみを表しつつ歩めるように主に助けて頂きましょう。

【祈り】下記の祈りの課題を覚えて祈りましょう(主に、週報から)。その他にも個人的な祈りの課題があれば、祈りましょう。

ありがとうございました！ また来週、配信致します。

百合丘キリスト教会

川井信雄

(「祈禱会の時間です！」の受信をご希望の教会員の方には転送して下さい。その他、通常祈禱会に来て下さっている方にもどうぞ。その際、次回直接メールできるように、私にもCCして頂ければ感謝です。)